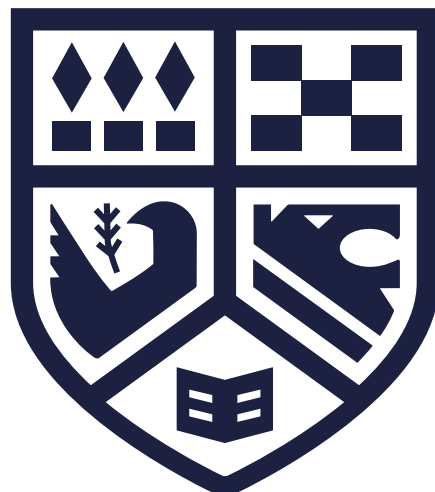
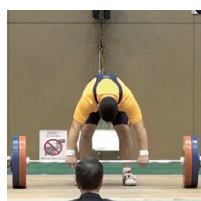




UNIVAS

設立初年度の歩み



UNIVAS first year annual report

CONTENTS

会長挨拶 ～「大学スポーツの振興」に向けたUNIVASの活動指針	1
UNIVAS設立までの歩み ～ 理事・監事～組織図	2
加盟大学・競技団体	3
UNIVASパートナー企業	4
UNIVASが取り組む5つのテーマ	5
事業内容	
学びの環境を充実させます	6
安心して競技に取り組めるようサポートします	8
大学スポーツを盛り上げます	10
会員とのコミュニケーション	13



UNIVAS

一般社団法人大学スポーツ協会（UNIVAS）は2019年3月1日に創設され、無事に最初の1年間を終えることができました。当協会の創設に当たっては、2016年に文部科学大臣の下に設置された「大学スポーツの振興に関する検討会議」を初めとして、数多くの大学関係者や競技団体関係者、学識経験者の方々の検討を経ており、そこで指摘されたさまざまな課題を解決するために、5つのテーマを設定し、14のプログラムを実施しているところです。

日本のスポーツの歴史を紐解くと、大学スポーツが果たしてきた役割が極めて大きかったことが分かります。スポーツそのものが発展、多様化した現代においても大学スポーツに期待される役割はなお大きく、これからさらに発展していく可能性も秘めています。学生がスポーツの技能だけでなく、勉学や社会貢献その他の活動で光り輝き、卒業後は学生時代に培った知力・体力・精神力等を活かして地域社会・国際社会に貢献できる人材として育ち、また、在校生はもちろんOB・OGや地域の方々が大学スポーツを楽しみ、応援してくれるようになっていくことが大学スポーツの振興に不可欠と考えています。そのために、当協会は、学生、大学、競技団体の主体的な活動をサポートし、大学スポーツの環境をより良くする活動を加速させていく所存です。

今後とも皆様の益々のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



大学スポーツ協会会長

鎌田 薫

「大学スポーツの振興」に向けた UNIVAS の活動指針



UNIVAS 設立までの歩み

我が国のスポーツの発展や競技力の向上において、大学の運動部活動やそこに所属する学生アスリートの果たしてきた役割は大きい。しかし大学スポーツは、大学内で課外活動として位置づけられ、学生(やOB・OG)を中心とする自主的・自律的な運営が行われ発展してきた経緯から、大学内でも個々の部の活動として自治の努力を重ねている現状が多く、大学の関与が限定的で学内でも競技横断的に全学的にスポーツ分野の取組を一体的に行う部局を置いていない大学が多いのが現状である。

また、学生アスリートの学業環境の整備が十分になされていない場合もあり、運動部活動とスポーツ医科学等の教育・研究の連携が不十分で、学生の安全の確保、事故防止及び発生時の対応に課題を有している場合もある。

同様に、大学における大会の開催や競技規則の運用等の役割を担う学生競技連盟(いわゆる学連)も、競技ごと、さらには地域ごとに組織が存在するほか、法人格を取得していない組織も存在するなど、組織体制や他の競技団体等との連携が不十分な場合が多い。

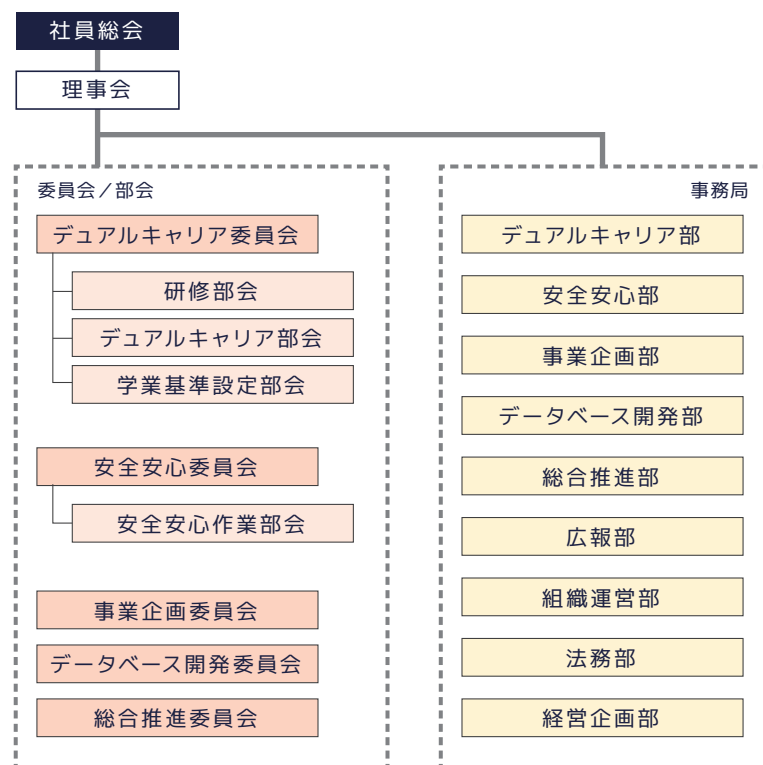
大学の運動部活動が持つ様々な資源や公益的な役割を発展させていくために、文部科学省では、2016年4月に、文部科学大臣の下に「大学スポーツの振興に関する検討会議」を設置して検討を開始、その後「日本版NCAA創設に向けた学産官連携協議会」「大学横断的かつ競技横断的組織設立準備委員会」を経て、2019年3月一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)の設立に至った。



理事・監事

顧問	川淵三郎
顧問	小宮山宏
顧問	松浪健四郎
代表理事 会長	鎌田薫
副会長	川原貴
副会長	有森裕子
専務理事	池田敦司
常務理事 事務局長	筱崎隆広
理事	伊坂忠夫
理事	泉正文
理事	伊藤亮介
理事	小林至
理事	小林勝法
理事	境田正樹
理事	戸田芳雄
理事	友添秀則
理事	内藤雅之
理事	藤本淳也
理事	三宅仁
監事	生田圭
監事	大塚則子

組織図



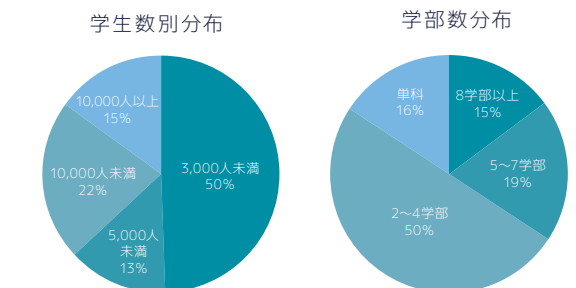
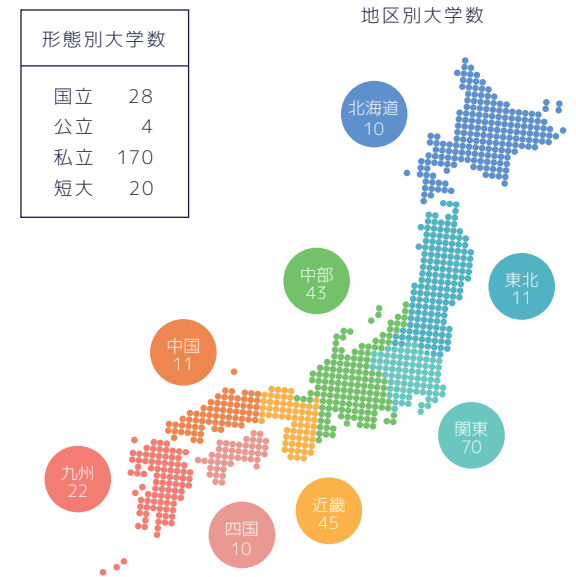
2020年3月1日時点

2020年3月1日時点

UNIVAS 会員一覧

222 加盟大学
UNIVERSITY

全国42都道府県から222大学が加盟



学生数は大学ポートレートにて公表されている在籍学生数

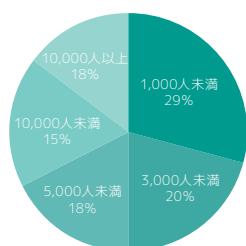
34 加盟競技団体
AFFILIATED ORGANIZATION

一般財団法人少林寺拳法連盟/全日本学生アーチェリー連盟/
全日本学生カヌー連盟/一般社団法人全日本学生空手道連盟/
一般社団法人全日本学生柔道連盟/公益社団法人全日本学生スキー連盟/
全日本学生テニス連盟/全日本学生ハンドボール連盟/
全日本大学ソフトボール連盟/一般財団法人全日本大学バスケットボール連盟/
一般財団法人全日本大学バレーボール連盟/公益財団法人全日本大学野球連盟/
公益財団法人全日本なぎなた連盟/全日本学生レスリング連盟/
公益社団法人日本アメリカンフットボール協会/
公益社団法人日本ウエイトリフティング協会/
公益社団法人日本オリエンテーリング協会/公益財団法人日本学生航空連盟/
日本学生ゴルフ連盟/一般社団法人日本学生サーフィン連盟/
日本学生ソフトテニス連盟/日本学生ホッケー連盟/日本学生ライフル射撃連盟/
公益財団法人日本水泳連盟/一般社団法人日本スポーツチャンバラ学生連盟/
公益社団法人日本トリアスロン連合/公益社団法人日本馬術連盟/
一般社団法人日本フライングディスク協会/公益社団法人日本ボート協会/
一般社団法人日本ボクシング連盟/公益財団法人日本ラグビーフットボール協会/
一般社団法人日本拳法競技連盟(※)/
一般社団法人日本オーストラリアンフットボール協会(※)/
一般社団法人日本クロスカントリースキー協会(※)
※連携会員

2020年3月1日時点

34 競技団体加盟、登録学生競技者は約17万人

登録学生競技者数分布



登録学生競技者数は2019年度競技団体把握人数。

UNIVASパートナー企業

UNIVASは、その理念に共感していただいた企業の皆さまとパートナー契約を締結し、大学スポーツの振興に向けた様々な活動をパートナー企業と共に推進しています。

「学修支援・デュアルキャリア形成支援」「安全安心な環境整備」「大学スポーツの盛り上げファンの拡大」といった活動に各パートナー企業が有する専門性を加えることにより、より充実したサービスを会員・学生・ファンの皆様に提供してまいります。



パートナー企業からのメッセージ

TOP PARTNER



KDDI株式会社 高橋誠 代表取締役社長

KDDIは「豊かなコミュニケーション社会の発展への貢献」を企業理念に掲げ、社会インフラである通信ネットワークの整備をはじめ、お客さまの暮らしを豊かにするさまざまなライフデザインサービスをご提案しております。5G、IoTなど先端技術の活用により、さまざまな産業が高度化し、新しい価値を創造していく時代に向かうなかで、今回のパートナーシップにより、KDDIが有する先端技術とこれまでのスポーツに関する取り組みを組み合わせることで、スポーツを愛するファン・大学生アスリート・大学・競技団体全てが近未来のスポーツ体験にワクワクし、スポーツを楽しみながら育まれていくことを強力にサポートしていきます。



株式会社マイナビ 中川信行 代表取締役社長

常に努力と挑戦を続けるスポーツ選手たちの姿は、学生・社会人、プロ・アマに関わらず、全ての人々に勇気や感動を与えてくれます。マイナビは1973年の創業以来、夢や目標に向かって頑張る人たちを応援する存在でありたいという思いから、人生の転機に寄り添うサービス展開を目指してきました。特に、就職情報をはじめ、学生の皆さんにご提供するサービスは多岐に渡ります。今後も、スポーツに打ち込む学生の皆さんの、ひたむきな姿勢や熱い想いを後押しすべく、UNIVASの取り組みに賛同し、支援させていただきます。

GOLD PARTNER



MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社 柄澤康喜 取締役社長グループCEO

UNIVASとのパートナーシップを通じて、その理念である「安心・安全を確保した大学スポーツの振興」の実現に貢献できることは、当社グループが推進する社会との共通価値の創造(CSV)にも通じる大変意義あることだと考えています。世界で活躍するアスリートの育成や社会人・企業人としての成長、そして社会のさらなる発展に寄与するために、MS&ADグループ全体で取り組みを推進してまいります。

ACADEMIC PARTNER



株式会社KEIアドバンス 矢島敏男 代表取締役社長

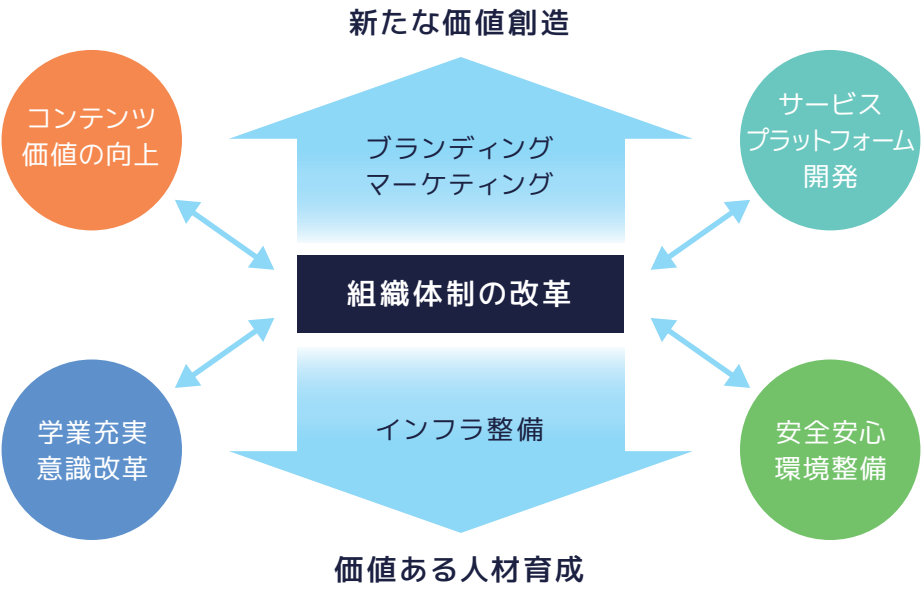
河合塾グループは、「次世代を担う人材の育成」をミッションに進学指導の枠を超えた教育研究開発に取り組んでおります。ここで蓄積したノウハウをベースに、「学修支援」領域におけるアカデミックパートナーとして、大学生アスリートのための「社会に出て活躍できる人材育成」に貢献すべく全力を尽くす所存です。

UNIVASが取り組む5つのテーマ

2019年3月の設立以来、UNIVASは5つのテーマに沿って14のプログラムに着手してまいりました。

まずは「組織体制の整備」として組織運営の基盤整備を根幹に、価値ある人材育成に向けた「学業充実・意識改革」「安全安心・環境整備」といったいわばインフラを整備していくテーマ、新たな価値創造に向けた「コンテンツ価値の向上」「サービスプラットフォームの開発」といったブランディング・マーケティング目的のテーマです。

これらのテーマに沿い、UNIVAS設立前に設立準備委員会にて検討、提起された14のプログラムについて着手・推進してきております。



UNIVASが着手・推進した14のプログラム

担当委員会	プログラム	実施内容
デュアル キャリア 委員会	1 入学前教育プログラムの提示・支援	Eラーニングプログラムの提供を開始
	2 指導者管理者研修の実施	全国6会場にて研修会を開催
	3 学業基準導入可能性の検証	モデル大学での実証・全大学アンケートの実施
	4 キャリア形成支援プログラムの提供	リーダーズキャンプの開催
安全 安心 委員会	5 学生の相談窓口の設置	オフィシャルサイトに相談窓口を設置
	6 地方大会助成(メディカル・運営)	医療従事者等の配置事業の申請を受け付け
	7 安全安心ガイドラインの提示	冊子化し大学・競技団体に配布
	8 事故・怪我予防事例研究	保険データの分析と結果報告書の発刊
事業 企画 委員会	9 試合の動画配信	延べ1,143試合の動画を無料配信
	10 競技横断型大学対抗戦の開催	UNIVAS CUP2019-20を開催
	11 競技日程カレンダーの作成	UNIVAS CUP2019-20指定31大会の日程を公開
	12 年間表彰の実施	UNIVAS AWARDS2019-20を開催
DB開発委員会	13 データベース開発	大学と競技団体をつなぐ情報管理プラットフォームを開発
総合推進委員会	14 スポーツ統括業務手引書の提示	冊子化して研修会で説明、各大学に配布

学生アスリートにとっては、大学生活において学業と運動部活動を両立させることや、自身の将来を考えて準備を始めることは、最も重要なテーマのひとつです。しかし、そのひとつひとつの実践・実現に向けては、さまざまな課題が存在しています。UNIVASは、学生アスリートが学業に注力し、自身のキャリアを考えたり出来るように、さまざまな支援プログラムを提供していきます。2019年度は、運動部学生が入学時から学業に取り組み易くするための「入学前教育プログラム」の提供、運動部の管理者・指導者に学業充実やデュアルキャリア形成の必要性に対する理解を深めるための「管理者・指導者研修会」の開催、デュアルキャリアを考える一環として運動部の新キャプテンに参加していただいた「UNIVASリーダーズキャンプ2020」を開催いたしました。また、学業と運動部活動の両立に向けた「学業基準の導入」といった課題の検討も進めています。

「入学前教育プログラム」をリリース

学習支援

大学への推薦入学が決定した運動部学生が大学入学後に学業と運動部活動の両立をスムーズに行えるようにするためには、大学入学前の準備が重要です。入学前の期間に、自身の学力の確認や復習ができる「入学前学習プログラム」の提供を開始いたしました。このプログラムは、アカデミックパートナーである「河合塾グループ株式会社KEIアドバンス」との共同開発で、AIにより受講者の学力レベルに応じたカリキュラム編成ができるe-learningシステムです。

【プログラムの概要】

学べる教科	英語・数学(e-learning) / 国語(課題記述方式)
受験できる 学力判定テスト	英語・数学
学習方法	学生本人が専用アカウントで ログイン、自身のデバイス (PC・スマートフォン・タブレット) を使用して受講する方式

一人ひとりの理解度に応じて個人に最適化された教材を提供する「河合塾One」にて英語と数学を学習。希望者には、日本語力養成「大学生生活活きのための読む書く入門」も受講可能。

1月

2月

3月

入学

実施前(プレ)テスト

実施後(ポスト)テスト

実施前後のテスト結果を比較することで
学力伸長を把握します。

河合塾グループ
株式会社 KEI アドバンス

supported by

デュアルキャリアとは

大学生は学業を通じて専門性を身につけるとともに、学生生活での学びと合わせて、自らの人間力を高める機会を得る。とりわけ、運動部に所属する学生は、学業と競技活動に多くの時間を割くことになる。キャリアを人生全般と捉え、大学スポーツにおける「デュアルキャリア」とは、学業、競技活動などを通じて自身のキャリアをより豊かにするために取り組むことを意味する。

入学準備

【プログラムの概要】

内 容	大学スポーツのエピソード・学校生活 ライフプラン・大学の理解と大学の学び 等
先輩アスリート	ナビゲーター：土屋炎伽 ゲスト：宮崎大輔(ハンドボール) ：泉谷莉子(陸上競技七種競技)
学習方法	UNIVASオフィシャルサイトにて無料配信 https://www.univas.jp/article/12198/

高校時代とは学びの環境が大きく変わる大学生活に適応しやすくするために「入学準備プログラム」の提供を開始しました。こちらは、トップパートナーである「株式会社マイナビ」の協力の下、先輩アスリートの体験談をもとに、大学での授業の基礎知識や、キャンパスライフのイメージ等をわかりやすく伝える対談形式の動画セミナーとなっています。UNIVASオフィシャルサイトにて無料配信を行っています。

【第1回 大学スポーツのエピソード】大学入学後にスポーツに取り組む新入生の皆さんに送る特別動画4回シリーズを公開しました

土屋 炎伽

UNIVAS 選手

マイナビ アスリートキャリア

supported by

全国6会場で管理者・指導者研修会を開催

2019年度
実施マップ

大阪会場 9/6

岡山会場 9/5

福岡会場 9/9

札幌会場 9/14

東京会場 9/3

愛知会場 9/4

大学における運動部統括業務の必要性や、学生アスリートに対する学業支援・キャリア形成支援・安全配慮の重要性の理解・浸透を図る目的で、大学における運動部の管理者・指導者を対象とした「UNIVAS研修会」を全国6会場で開催、延べ318名の方々に参加いただきました。

開催地	開催日	会場	参加人数
東京	9/3(火)	法政大学	128
愛知	9/4(水)	日本福祉大学	46
岡山	9/5(木)	環太平洋大学	15
大阪	9/6(金)	追手門学院大学	75
福岡	9/9(月)	福岡大学	44
札幌	9/14(土)	札幌国際大学	10
合計			318

学業基準導入に向けた実証・検証を進めています

学生アスリートが大学生活において学業と運動部活動を両立させることは最も重要なテーマのひとつであり、そのための環境整備の一環として「学業基準」の導入に関しての検討を進めています。昨年度は、UNIVAS学業基準設定部会にて策定した学業基準原案を基にして、右の3つの実証・検証を行いました。

モデル大学における実証調査

学業基準原案を提供した場合の影響範囲等を実証検証しました。

先行大学に対するヒアリング調査

独自に学業基準を導入している先行大学の実情を取材しました。

全会員大学に対するアンケート調査

学業基準原案に対する意見や導入の意向等を調査いたしました。

全国の新キャプテンが集結!「UNIVASリーダーズキャンプ2020」を開催

2020年2月16日(日)～17日(月)、トップパートナーである「株式会社マイナビ」のご協力の下、「UNIVASリーダーズキャンプ2020」を開催、北海道から九州までの23大学19競技41名の新キャプテンが集まり、2日間に渡りさまざまなプログラムを体験しました。このキャンプは、運動部において重要な役割を果たすキャプテンにキャプテンシーを学んでもらうことと共に、自身のキャリア形成に役立てていただくことを目的として開催いたしました。

【プログラム内容】

●開催場所/仲間と泊まる学校「ちょうなん西小」

●1日目
11:30 東京駅出発～バス移動
14:00 開始～参加者交流
15:00 キャプテン(リーダー)とは、そしてチーム(組織)とは何か
16:30 ビジョンを機能させ目標を達成するメソッド「V.S.Sマネジメント」
18:00 夕食
19:00 特別ゲストトーク(廣瀬俊朗氏)

●2日目
06:30 起床
07:30 朝食～前日の振り返り
08:30 社会に求められるリーダーとは
10:00 企業セミナー(株式会社マイナビ)「私たちが求めるリーダーとは」
11:00 自己分析～パーソナリティ検査～昼食
13:00 人生100年時代における自分のビジョンを描く
14:30 チームビジョンを描く
16:00 代表者スピーチ
17:00 終了～現地出発

【参加者からの声】

今までキャプテンはチーム顔であり、先頭に立つものだと思っていたが、今回のリーダーズキャンプを通じてキャプテンはその立場で目標へ向けて仲間と一緒にチームを率いていくことがわかりました。(北海道・卓球部)

自分だけが悩んでいると思っていた悩みが実は大なり小なりキャプテン皆持っていて、1人じゃないと実感できました。このリーダーズキャンプに参加したことによって0だった自分のリーダーとしての知識やスキルがすごく大きくなったと思います。(埼玉県・ウエイトリフティング部)

特に悩み事は、身内にはなかなか話づらいですが、今回のような特別な場があったために、日頃は言えないことが言えたり、今まで一度も思っていなかったことを話しているうちに気づくことができたりと、話すことで感じられることも多くありました。(埼玉県・ラグビー部)

今回のキャンプに参加して一番良かったのは、このキャンプに参加しなかったら出会えてなかった人たちがいて、違う大学の自分とは違う部活をやっている人とコミュニケーションをとることができたのですごくよかった。(福岡県・サッカー部)

ここで学んだことを学んだだけで終わらせずに、チームに戻った時に活かせるようにしたい。とても貴重な体験をさせていただいたので、この1年だけでなく、その先でも役立てていきたい。(新潟県・バレーボール部)

今の自分のチーム状況しか分からない環境が他種目、他チーム、他県など全く違う環境でスポーツを行う同じキャプテンのみんなと話せたことですごく良い刺激をもらったし、大変なのは自分だけじゃないんだという気持ちになれてすごく気持ちが楽になりました。(愛知県・バスケットボール部)

正直にいうと、このリーダーズキャンプには半ば強制的で感じた感じで、どんなキャンプになるかすごく不安で、嫌だなという感じで望んでいたけど、実際始めると、スタッフのみんなもすごく優しくしてくれてアイスブレイクなど取り入れて、場の空気をやわらげてとてもやりやすかった。(千葉県・ハンドボール部)

権威のあるポジションにつくと、なかなか自分のミスを認めたくなくなってしまうが、このような機会を頂けて、自分を見直すことができた。(山口県・セーリング部)

リーダーズキャンプの様子は
こちらから→
https://www.univas.jp/article/11578/

supported by

マイナビ アスリートキャリア

6

7

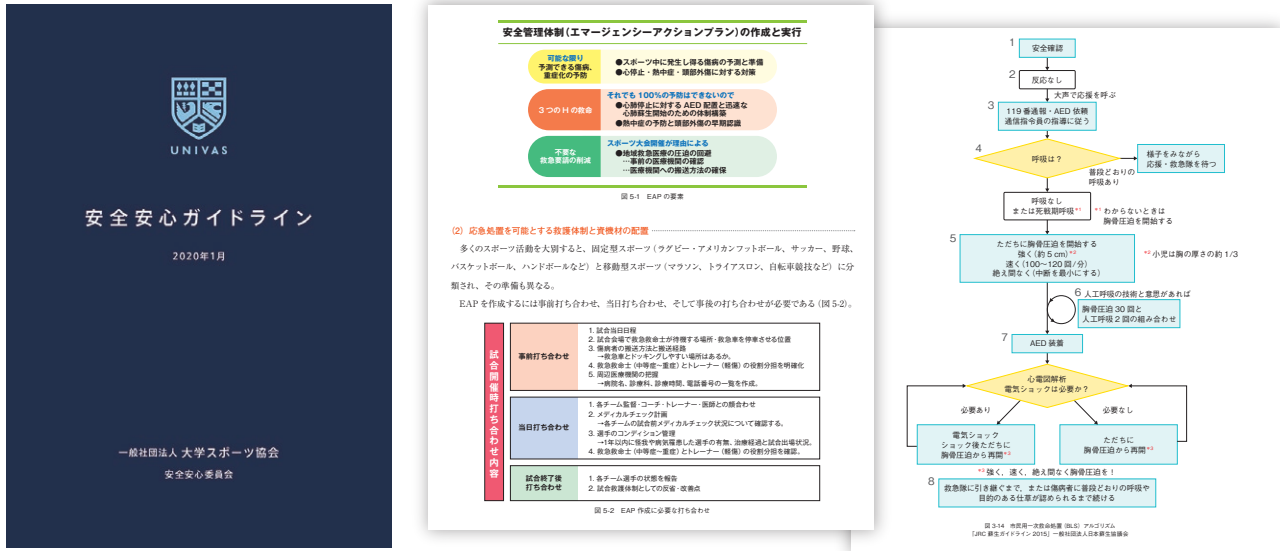
大学生が安全に安心してスポーツに取り組み、競技力向上に邁進できるように、運動部活動の環境整備を行うことが重要な課題です。UNIVASでは、学生アスリートの活動や、大学・競技団体の環境整備をサポートする施策を展開してきております。

2019年度は、全ての大学スポーツに携わる方たちが備えるべき基本的な知識や守らなければならない項目を取りまとめた「UNIVAS安全安心ガイドライン」の作成と冊子配布、大会・試合や練習時における安全性の向上を目的とした「医療従事者等配置に対する助成事業」、大学の運動部におけるハラスメント問題等に関して学生や指導者・父兄からの相談を直接承る「UNIVAS相談窓口」の開設、保険データを基にした事故・怪我の実態の取りまとめを推進してまいりました。

競技横断的な安全安心ガイドラインを策定しました

これまでもそれぞれの大学や競技団体において安全安心なスポーツ活動の取り組みがなされてまいりましたが、全ての競技に共通する安全安心に関わる遵守すべき事項(大学や競技団体の安全管理体制のあり方や頭頸部外傷、脳振盪、熱中症、心停止等の重大事故の予防策)を明記したガイドラインを作成いたしました。

大学年代における普及啓発を目的とし、会員向けに冊子版を配布するとともに、大学スポーツのみならず幅広く本ガイドラインを活用していただき、日本のスポーツの安全安心な環境構築の一助となるよう、UNIVASオフィシャルサイトにおいても電子版を公開しております。



「医療従事者等の配置事業」にて大会等に医療従事者を派遣しました

学生アスリートが安全安心な環境で競技に取り組めるよう、「医療従事者等配置事業」を実施し、2019年12月～ 2020年3月の試合、大会に医療従事者等を派遣しました。UNIVASに加盟する大学・競技団体が主催する大会・試合に、申請に基づいて医療従事者(医師、看護師、アスレティックトレーナー等)を配置しました。

【申請対象者】

- ・加盟大学(上限: 20万円)
- ・加盟競技団体(上限: 30万円)

【対象期間】

2019年12月1日～ 2020年3月31日の試合、大会を対象

【対象となる試合】

- 大学: (ア)大学が主催する試合
- (イ)運動部が主催する試合

【配置対象とする医療従事者】

医師、看護師等の医療資格保持者、アスレティックトレーナー、救急救命士、その他有資格者

- 競技団体: (ア)中央学生競技団体が主催する試合
- (イ)地区学生競技団体が主催する試合

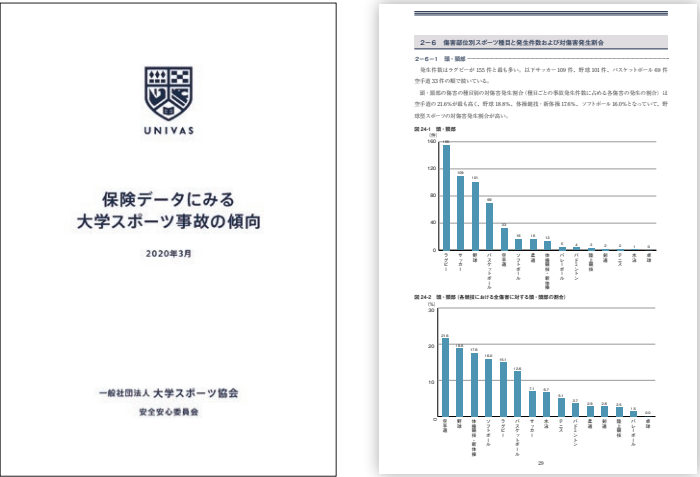


UNIVAS相談窓口を設置しました

大学生の皆さんが大学スポーツに健全に取り組むことができる環境を整備するためにUNIVAS相談窓口を設置しました。本窓口は、選手や、マネージャー、コーチ等の学生スタッフとして、UNIVASに加盟する大学または競技団体に所属し、大学スポーツに取り組む学生または大学卒業もしくは所属後3年を経過しない皆さん、その親族、指導者及びチームスタッフの方が無料でご利用頂けます。

保険データを基に大学スポーツの事故・怪我の取りまとめを行いました

事故・怪我予防の実態分析と予防の研究に向けた第一弾の施策として、大学生の加入している2つの大きな保険制度である学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災(がっけんさい))及びスポーツ安全保険の事故データを基に現在の日本の大学スポーツにおける事故・怪我の状況について、取りまとめを行った「保険データにみる大学スポーツ事故の傾向」を発行いたしました。課外活動中の事故事例や競技別のスポーツ外傷・障害の特徴について情報提供を行いました。



相談できる内容について

監督、コーチ、顧問等の指導者、サポートスタッフ、選手などの大学スポーツ関係者が関与する以下の行為について、相談を行うことができます。

- 暴力、暴言、脅迫及び威圧等、競技の範囲を超えて学生に身体的又は精神的苦痛を与える行為(パワハラ行為)
- 学生に不快感を与える性的な言動(セクハラ行為)
- 差別、義務のない行為の強要、試合の不正操作、ドーピング等、大学スポーツにおける正当又は健全な活動を、直接又は間接的に妨害する行為
- その他、大学スポーツに関連して行われる違法行為、加盟団体規則違反行為またはそれらに準じる社会規範に照らして不適切な行為

STEP.1

相談者 → 相談

WEBフォームから相談窓口へ連絡ができます。

STEP.2

担当者 → 検討

担当者はUNIVASと協議し、対応を検討します。

STEP.3

UNIVAS → 協議

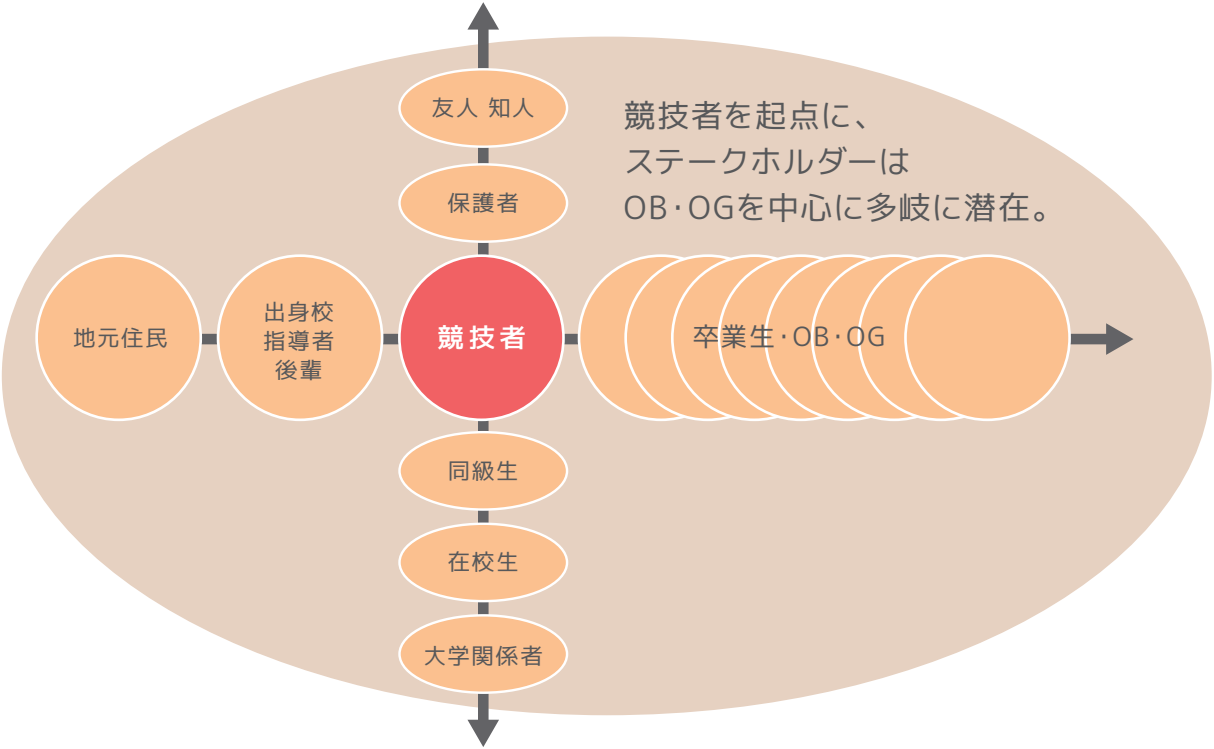
UNIVASは検討結果に応じて、問題解決に向けて加盟団体と協議をします。

詳細はUNIVASオフィシャルサイトをご確認ください。

日本におけるスポーツ発展の歴史において、大学スポーツは大きな役割を果たしてきました。一方で、現在のスポーツ多様化時代においては、大学スポーツはまだまだその価値を十分に発揮し得ていないと言えます。しかしながら、大学スポーツは競技者を中心に、学生、大学関係者、保護者、友人・知人、出身校指導者、後輩、地元関係者、卒業生、OB・OGに至るまで多くの潜在マーケットを抱えており、振興に向けた潜在力を有しています。UNIVASは、学生の皆さんが、より高いモチベーションを持って競技に打ち込めるように、多くの方々が大学スポーツに注目し、応援できるようなムーブメントづくりを進めています。

2019年度は、大学スポーツとして幅広い競技に関心を持ってもらうための「UNIVAS CUP2019-20」の開催、真剣に競技に打ち込んでいる学生の姿をより多くの人々に知ってもらい、見てもらうための「試合動画の無料配信」、文武両道を体現した学生や、大学スポーツの振興に寄与した団体を表彰する「UNIVAS AWARDS2019-20」の開催を実施いたしました。

大学スポーツは大きな潜在マーケットを抱えています。



延べ1,143の熱戦の様子を無料で動画配信しました。

大学スポーツの注目度を向上させ、ファン開拓の促進を目的として、競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP2019-20」の指定大会を中心に試合の動画を、UNIVASオフィシャルサイトで無料配信しました。

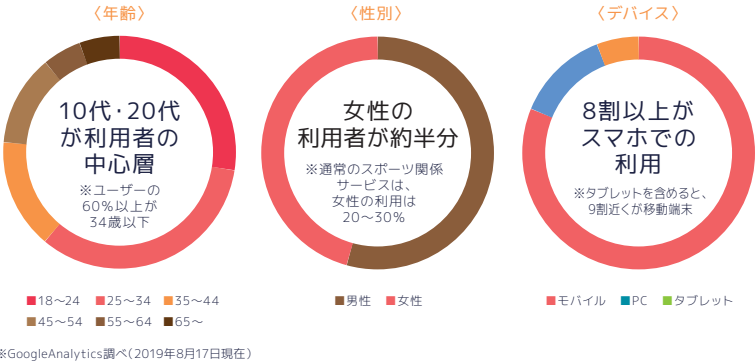
【配信試合数】

- ・LIVE配信 320試合
- ・ハイライト配信 823試合

【動画再生回数】

208,325回 ※2020年2月29日時点

動画は10～20代がスマートフォンで視聴している傾向がありました。また、視聴者の約半分は女性であり、試合会場に行くことができない遠方のご家族なども視聴いただいていることがうかがえました。



競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP2019-20」を開催しました。

大学スポーツにおいて今までは競技毎の大学日本一決定戦しかありませんでした。今回、大学スポーツをもっと盛り上げていくために、より多くの方々に関心をよせていただくために、大学スポーツの総合力を競う大会として新たに競技横断型大学対抗戦「UNIVAS CUP2019-20」を開催しました。UNIVAS会員の31競技団体が開催する大会のうち、全国の大学が参加し大学日本一を決する目的の大会につき、原則として1競技1大会を「UNIVAS CUP2019-20」指定大会として設定し、該当指定大会の順位に応じて各大学はUNIVASポイントを獲得し、指定31大会でのポイント獲得総数によって大学総合順位を決定しました。当初予定されていた指定31大会のうち、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点で、一部の大会が開催中止となりましたが、会員大学は222大学中141大学が指定大会に出場、うち132大学がポイントを獲得しました。

総合ランキング BEST10			部門賞		
順位	大学名	ポイント	ポイント獲得数: 男子		
1	早稲田大学	12,323	1	早稲田大学	9,167
2	日本体育大学	6,059	ポイント獲得数: 女子		
3	東海大学	6,045	1	日本体育大学	2,672
4	立命館大学	3,637	優勝回数: 男子競技		
5	近畿大学	3,292	1	日本体育大学	14
6	山梨学院大学	2,965	優勝回数: 女子競技		
7	東洋大学	2,965	1	東洋大学	7
8	中京大学	2,711	1	日本体育大学	7
9	福岡大学	2,685	地区別ポイント獲得数第1位		
10	大阪体育大学	2,669	地区	大学名	ポイント
			北海道	北海道大学	679
			東北	東北福祉大学	2,180
			関東	早稲田大学	12,323
			中部	山梨学院大学	2,965
			近畿	立命館大学	3,637
			中国	環太平洋大学	1,690
			四国	高知工科大学	720
			九州	福岡大学	2,685



大学スポーツを盛り上げます

学生アスリートたちの1年間の活躍を讃える「UNIVAS AWARDS2019-20」を開催しました。

競技成績のみならず、学業充実や安全安心、大学スポーツの盛り上げ等に著しい成果をあげた人・団体に贈られる「UNIVAS AWARDS2019-20(ユニバス アウォーズ 2019-20)」の表彰式が、3月27日(金)に行われました。表彰式はコロナウィルスの感染拡大防止のため受賞者の発表に限定し、全国各地からでも視聴できるようにインターネットにてライブ配信を行いました。「UNIVAS AWARDS2019-20」表彰式は、大学スポーツを通じて「卓越した人材を輩出する」というUNIVASの理念を体現し、大学スポーツの発展に貢献した学生アスリートやスポーツに関わる学生、OB・OG、指導者、団体を表彰し、大学スポーツの活性化に繋げることを目的としています。



UNIVAS AWARDS2019-20			
表彰名		表彰内容	最優秀賞
パーソン・オブ・ザ・イヤー		文武両道を実践し、他の模範となる運動部学生を表彰	藤井 達哉 青山学院大学レスリング部
ウーマン・オブ・ザ・イヤー		文武両道を実践し、他の模範となる運動部女子学生を表彰	西後 実咲 大東文化大学テコンドー部
パラアスリート・オブ・ザ・イヤー		パラスポーツにおいて活躍した学生を表彰	喜多 美結 関西大学テニス部
サポーターイングスタッフ・オブ・ザ・イヤー		学生アスリートや運動部を支える活躍をした学生を表彰	稲井 勇仁 公益社団法人日本トライアスロン連合／情報戦略医科学委員 早稲田大学トライアスロンサークル
スポーツパーソンシップ・オブ・ザ・イヤー		スポーツパーソンシップ溢れるプレーや振る舞いを行った学生を表彰	宮崎 優成 九州国際大学サッカー部
アルムナイ・オブ・ザ・イヤー		卒業後、社会に貢献したOB・OGを表彰	該当なし
コーチ・オブ・ザ・イヤー		人材育成や競技力向上に尽力した指導者を表彰	寺本 祐治 山梨学院大学ホッケー部 部長・総監督
学修機会確保に関する優秀取組賞		運動部学生に対する学修機会の確保に関する先進的取り組みを表彰	青山学院大学
成績管理・対策に関する優秀取組賞		運動部学生に対する成績管理・対策に関する先進的取り組みを表彰	早稲田大学
安全確保に関する優秀取組賞		運動部活動における安全対策に関する先進的取り組み事例を表彰	国士舘大学
大会・プロモーションに関する優秀取組賞		大会・競技の普及や活性化、集客・応援促進のための大会プロモーションに関する優良取り組み事例を表彰	福岡大学
スポーツ統括部局/SA賞		大学スポーツ振興に関する先進的取り組み事例を表彰	鹿屋体育大学
UNIVAS CUP 2019-20 上位大学	総合ランキング	ポイント獲得総数によって大学総合順位を決定し表彰	早稲田大学
	男女別ポイント 獲得数	男子競技・女子競技の各々における獲得ポイント数により大学の 順位を決定し表彰	早稲田大学(男子競技部門) 日本体育大学(女子競技部門)
	男女別優勝回数	順位決定の最低単位(例:団体戦は1単位、順位がつく個人戦も1単位) における優勝数により大学の順位を決定し表彰	日本体育大学(男子競技部門) 東洋大学(女子競技部門)
	8地区別ポイント 獲得数	所在地により8地区に分け、ポイント獲得数によりその地区における 大学の順位を決定し表彰	北海道大学(北海道地区)／東北福祉大学(東北地区)／早稲田大学(関東地区) 山梨学院大学(中部地区)／立命館大学(近畿地区)／環太平洋大学(中国地区) 高知工科大学(四国地区)／福岡大学(九州地区)



藤井達哉さんの受賞コメント

最優秀賞という大きな賞を頂き、今までの行動、結果が評価されているようでとても嬉しいです。競技面だけではなく、学業面でも成果を残したいと考えていたので、限られた条件の中での両立できるよう苦慮しました。自分で考えたことが上手にいくまでに何度も失敗しましたが、周りの人達の助言を貰いながら少しずつ成果を積み上げていくことが出来ました。将来は今まで培ってきたものを後進に伝えていきたいと考えています。



会員とのコミュニケーション

学長懇談会を開催しました。

UNIVASでは、大学スポーツの振興に向けたさまざまな課題や問題点の討議と認識の共有化、UNIVASの活動に対するご意見もいただく場として会員大学の学長の方々にご参加いただく「学長懇談会～大学スポーツの今後を考える」を開催しております。初年度は、7月と11月に開催し、各々70名近い学長及び学長の代理として大学を代表する方にご参加いただき、さまざまな意見交換をさせていただきました。今後も定期的に学長懇談会を開催していく予定となっております。

- 第一回学長懇談会 2019年7月23日(火)・・・参加者72名
- 第二回学長懇談会 2019年11月7日(木)・・・参加者69名



会員との情報共有会を開催しました

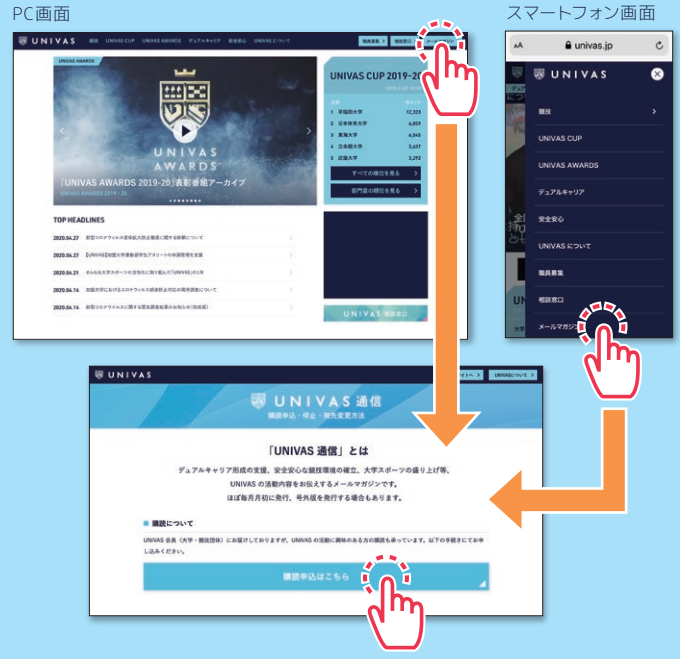
UNIVASでは、UNIVASからの提供プログラムに関する説明や意見交換、会員からの要望の吸い上げの為に会員窓口の方々に対象に情報交換会を開催しております。初年度は、大学会員対象と競技団体対象、併せて3回の情報交換会を開催しました。今後も会員との密なコミュニケーションの確立に向けて定期的に開催してまいります。

- 競技団体説明会 2019年3月6日(木)・・・参加20団体
- 大学情報共有会 2019年12月3日(火)～5日(木)・・・参加者50名 ※Web会議にて開催
- 競技団体意見交換会 2020年2月4日(木)・・・参加21団体

UNIVASの活動はこちらにて

【UNIVAS公式サイト】
<https://www.univas.jp/>

UNIVASの活動を毎月メールマガジンにて報告しております。受信ご希望の方は「メールマガジン」ボタンをクリックしてご登録をお願いいたします。



【UNIVAS公式Facebook】
<https://www.facebook.com/UNIVAS20190301/>



【UNIVAS公式Twitter】
<https://twitter.com/univas1>





一般社団法人

大学スポーツ協会